工事店さまへのお願い
この説明書は必ずお客様にお渡しください。

TOTO

EUDB307

食器洗い乾燥機専用分岐金具

水栓メーカー各社共通
シングルレバー・2ハンドル混合栓(壁付タイプ)用

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工・取扱説明書の内容にそって正しく取り付けてください。取付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。
また、ご使用のお客様の方で本施工・取扱説明書の「日頃のお手入れと点検」をよくお読みいただき、大切に保管してください。

主な適用機種は **壁付タイプシングルレバー・2ハンドル混合栓**
詳しくはTOTOホームページ www.toto.co.jp をご参照ください。

施工に関する安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

取付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取り付けてください。

●この説明書では商品を安全に正しく取り付けていただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。

表示	意味
注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取扱いをすると、傷害又は物的損害が発生する可能性があることを示しています。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

(禁止)	してはいけない「禁止」内容です。
	分解しないでください。
(強制)	必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 注意

禁止	凍結のおそれのある所への設置は避ける 水漏れのおそれがあります。
	施工前後に水道の元栓又は取付脚の止水栓を開放状態のままで分岐金具、水栓金具などの分解、取り外しはしない 障害、物損、故障、水漏れなどのおそれがあります。
	分岐金具や混合栓は落としたり、強い衝撃を与えない 取付けができなくなったり、水漏れのおそれがあります。

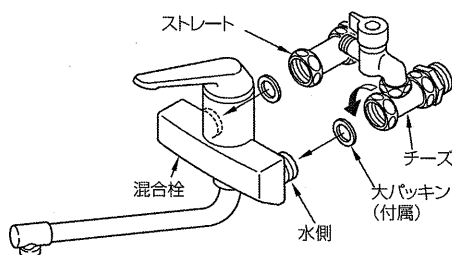
⚠ 注意

禁止	分岐金具の改造は行わない 水漏れのおそれがあります。
分解禁止	分岐金具は絶対に分解しない 水漏れのおそれがあります。
必ず実行	水道の元栓又は取付脚の止水栓の開放は必ず分岐金具と食器洗い乾燥機を給湯ホースで接続したあと行う 高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。
	分岐金具を取り付ける場合、必ず施工説明書で指示されている工具を使って取り付ける 指示されている工具以外で取り付けを行うと傷を付けたり施工不良により水漏れのおそれがあります。
	分岐金具取付け完了後、食器洗い乾燥機の試運転を行い、水栓本体と分岐金具との間から水漏れがないかよく確認する 家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。 高温の湯が噴き出しやけどをするおそれがあります。

給水接続での組立て方法

※給湯接続と比べて洗浄時間が長く、ランニングコストが高くなります。

必ず実行	施工前に給湯機の取扱説明書を参照し、給湯温度の設定が可能であることを確認する 高温給湯タイプ(70℃以上でしか温度設定ができない)の電気温水器、ガス・石油給湯機をご使用の場合には必ず給水接続に切り替える 食器洗い乾燥機の故障の原因となります。

組立ての手順(裏面) 3 の工程で、分岐金具のチーズを混合栓の水側に取付けてください。

日頃のお手入れと点検

必ず実行	定期的に配管の周り(ホース接続など)を点検し、水漏れがないか確認する 部品の劣化摩耗などによる水漏れが発見できず、家財などを濡らすおそれがあります。
	お手入れの際は、まず水道の元栓、及び分岐金具の止水栓を閉じた後に作業を開始する 止水栓付き取付脚の場合は、止水栓を閉じる 家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。 高温の湯が噴き出しやけどをするおそれがあります。
	お手入れの際は、安全の為給湯器などの運転スイッチを切り、分岐金具が十分冷えたのを確認して作業を開始する 高温部位に触れるとやけどをするおそれがあります。

使用中にホースが外れた場合の注意

●**開閉ハンドルを閉めて**、緊急止水弁の先端をタオルなどで押さえてつまみ、上下(前後)左右に動かしながら押し込み、湯を抜いてから給湯ホースを取り付けます。

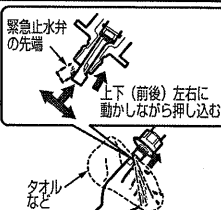
熱湯が出る場合がありますので注意してください。

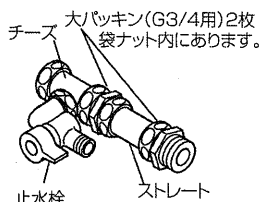
●水圧が高くレバーが押せない場合は、継手部をゆるめてから湯を抜きます。
その後、必ず継手部を取り付けてください。

商品のお問合せは･･･
TOTO(株)お客様相談室へ TEL 0120-03-1010 FAX 0120-09-1010

修理のご用命は･･･
TOTOメンテナンス(株)へ TEL 0120-1010-05 FAX 0120-1010-02

裏面へつづく

施　工　手　順

部品の確認　次の部品があることを確認してください。

1. 分岐金具

2.カプラーユニット
（緊急止水弁付）

3. パッキン類

大パッキン
(W28用)4枚

大パッキン
(G3/4用)6枚
※内2枚は分岐金具袋ナット内にセットされています。

中パッキン　2枚
※MYM社製水栓の取付脚に使用します。

小パッキン 1枚

4. 施工説明書（本書）

G3/4ネジ接続への組替え方法

※工場出荷時はW28山18ネジ接続に組み立てられています。

1 チーズ、ストレートからアダプタを取り外し、袋ナット内の大パッキン（G3/4用）を取り出す。

※取り出したパッキンは後で使用するので紛失などしないようにして下さい。

大パッキン(G3/4用)　アダプタ　チーズ　モーターレンチ　ストレート

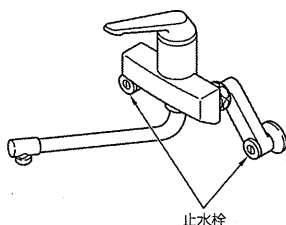
2 反対側の袋ナット内に大パッキン（W28用）を入れ、アダプタを取り付ける。

※取付の際には、アダプタ、袋ナットの両方にモンキーレンチ等をかけて、確実に締め付けてください。

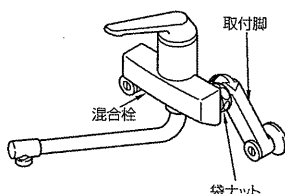
大パッキン(W28用)　アダプタ　大パッキン(G3/4用)

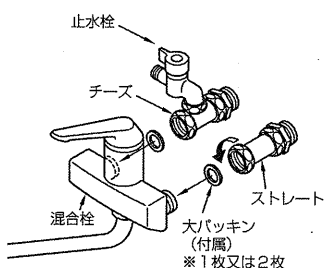
注 混合栓との取付けの際、付属の大パッキン(G3/4用)を2枚ずつ入れてください。

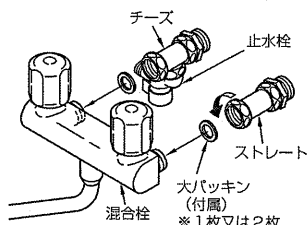
1 水道の元栓又は取付脚の止水栓を閉める。

注 水栓から水が出ないことを確認してください。

2 混合栓を取り外す。

取付脚の袋ナットをモンキーレンチなどでゆるめ混合栓を取り外す。

注 取付脚のパッキンは取り外し、分岐金具に付属のパッキンに交換してください。水漏れのおそれがあります。

3 分岐金具を混合栓に取付ける。

混合栓に分岐金具(チーズ、ストレート)を取付ける。

シングルレバー混合栓の場合

2ハンドル混合栓など、水栓のハンドルが操作しづらくなる場合は、止水栓が下向きになるようにチーズを取付けてください。

2ハンドル混合栓の場合

注 大パッキンにはW28用、G3/4用の2種類があります。パッキンの付け忘れ、付け間違いにご注意ください。

チーズ、ストレートの付け間違いにご注意ください。

給水接続でご使用の場合は、水側にチーズを取付けてください。(表面参照)

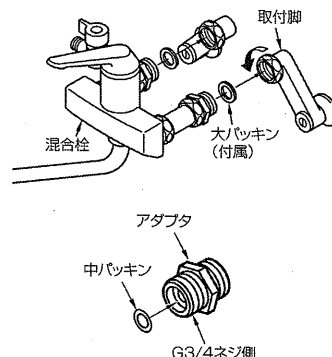
※ G3/4ネジ接続の場合、付属の大パッキン（G3/4用）を2枚ずつ分岐金具袋ナットに入れて取付けてください。

4 混合栓を取付脚に取付ける。

①分岐金具に付属の大パッキンを、取付脚の袋ナットに入れる。

②分岐金具を取付けた混合栓を、取付脚に取付ける。

取付脚　混合栓　大パッキン(付属)

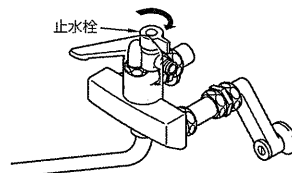
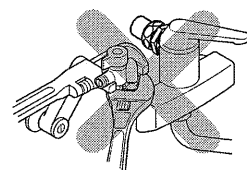
注 大パッキンにはW28用、G3/4用の2種類があります。パッキンの付け忘れ、付け間違いにご注意ください。

※MYM社製水栓の場合は,付属の中パッキンを分岐金具アダプタの内側に入れて,取付脚に取付けてください。(大パッキンは使用しません。)

アダプタ　中パッキン　G3/4ネジ側

5 止水栓の向きを決める。

止水栓の吐水口を食洗機設置方向に向け,止水栓袋ナットを締め付けて固定する。

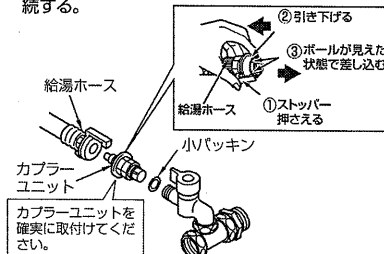
止水栓

注 止水栓の袋ナットは無理な力で締めすぎないようにしてください。袋ナット適性締め付けトルク:10N·m

注 袋ナットを締め付けるときは、止水栓を工具で押さえないでください。

6 給湯ホースを接続する。

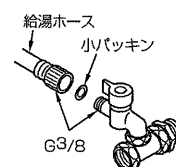
給湯ホースの接続仕様に合わせて、給湯ホースを接続する。

注 小パッキンの付け忘れにご注意ください。

カプラー接続の場合

カプラーユニット(付属)のナットの内側に小パッキンを入れて、止水栓の吐水口に取付け、給湯ホースを接続する。

G3/8ねじ接続の場合

給湯ホース先端の袋ナットの内側に小パッキンを入れて、給湯ホースを接続する。(付属のカプラーユニットは使用しません。)

⚠ 注　意

必ず実行

元栓又は止水栓の開放は、必ず給湯ホースを接続した後に行う
高温の湯が出てやけどするおそれがあります。

取付作業完了後、水栓及び分岐金具各部からの水漏れがないか確認する
家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。